

グローバル・リーダーシップ実習 I・II プログラム概要

1. プログラム内容

本学海外協定校のひとつであるイタリア・パヴィア大学の女子カレッジ、コッレージョ・ヌオーヴォでの 10 日間の短期研修を通して、EU で現在主流である「ソフトスキル」養成の観点からリーダーシップを学ぶ。現地学生と合同で女性リーダーシップに関する勉強会を企画・運営するなどして、学生間交流活動を行う。

2. プログラムポリシー

本プログラムはグローバルリーダーシップ研究所によって企画・運営されており、次世代の女性リーダーを育成することを目的としている。女性のリーダーシップを考える上で課題となるのは、伝統的なリーダーモデルが個人のカリスマ性や素質から考えられてきたことである。女性リーダー育成を阻む、いわゆるアンコンシャス・バイアスやジェンダーの問題もここに内包される。これを克服するためには、多面的で動的な新しいリーダーシップ概念を学習する必要があり、リーダーシップは学ぶことによって高めることができるというメッセージの発信が重要である。

学生は授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げる SDGs のような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探求する。

本プログラムで核となるのは、リーダーシップに欠かすことのできないソフトスキルに特化したイタリアでの短期研修である。ソフトスキルとは、未来の働き方を考えたときに AI(人口知能)ではカバーすることのできない、チームワーク、創造性、意欲や挑戦、決断力、時間管理、問題解決等に関する汎用的スキルのことを指す。プログラム期間中にパヴィア大学の女子カレッジ、コッレージョ・ヌオーヴォに滞在しながら、現地の学生とソフトスキルやリーダーシップについて共に学び、これら実践から国際社会で協同していくことのイメージを本格的なキャリア形成の前に習得する。

本プログラムは学生が自らのリーダーシップスキルに磨きをかけ、自信を持って社会へと飛び立てるよう支援することに重きを置く。このことは、次世代の女性リーダーの輩出に深く寄与する。

3. 対象者について

キャリアデザインプログラムの基幹科目を 1 科目以上履修した学部生を対象とする。キャリアデザインプログラムの基幹科目を履修していない場合は、2026 年度中に履修する必要がある。また、履修希望者多数の場合は、これまでの成績などを考慮の上、選考を行う。